

今回の創刊にあたり

常日頃、弊社を御利用下さりありがとうございます。景気の動向もまだまだはっきりとしない現状ですが、少しでも皆様のお役に立てることが無いかと思い、今回このようなニューズペーパーを作ってみました。軽い気持ちで呼んで頂ければ幸いです。（塚原）

<編集者>

塚原 望月  
村松 赤木  
山田 佳由博  
貴 健三  
幸平

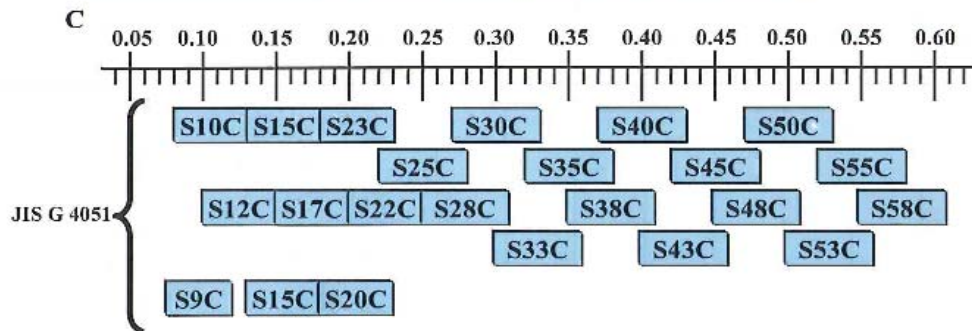
**鋼種 Q & A**

～ 今回は“S\_C材”について ～

S\_C材は、JISでは「機械構造用炭素鋼」と呼ばれ、記号はS\_Cと表されます。記号の意味は、Steel\_Carbonの頭文字で“\_”には炭素の含有量を表す2桁の数字が入ります。例えばS45Cの鋼材には0.45%の炭素が入っている炭素鋼であると言う事です。炭素の量は多くなるほど硬くなって強くなっていきます。

S\_C材は、0.3%～0.6%まで炭素が入っている鋼種を言います。

JIS 規格名 : 機械構造用炭素鋼  
JIS 記号 : S〇〇C  
炭素の含有量を表す数値



現状良く使われている炭素鋼は、S25C、S45C、S50Cの3種です。

S50Cは板材、S25C,S45Cは丸材が一般的です。（S45Cの板材も有りますが、需要は少ないです）

社長の

ワンポイント!

～皆さんが“黒皮”と呼んでいるモノについて～

“黒皮”と言われるものは、炉から出てきた鋼片を成形圧延（熱間圧延）工程後、急速に表面温度が下がる為に形成される酸化皮膜の事で、別名：スケールとも言われています。このスケールを付けた状態を流通しているものが、“黒皮材”と言われています。

切断倉庫部からの

お知らせです!

皆さんの会社で眠っている端材、使用していない材料がありませんか?

そんな陽の目が当たっていない材料を製品にして輝かせてあげましょう。

自社では異形の端材など、出来る限りの切断に対応致します。経費の節減も出来、一石二鳥だと思います。

切断担当者が魂を込めて対応させて頂きます。ぜひ一度御相談ください。（赤木）

★県内の動向★

東エリア（郡内、上野原）には、大手機械メーカーが3社あり、その下請け会社が密集しているエリアです。しかしながら昨年後半から大手メーカーの内製化が進み、下請け会社の仕事量が一気に減っていましたが、ここへきて半導体関係が少しづつではありますが動きが出てきています。県外から仕事を頂いているお客様でも医療系・航空機系など動きが出ています。少しづつ明るい光が出てきています。

西エリア（国中）では、大手メーカーの動きはまだまだ期待出来る程では無く、殆どの協力会社が稼働率を下げたままの状況です。ただ、自動車（エコカー）関連の動きは良いとの話も聞かれ、年内の受注量も安定しているとの事です。（工賃はかなり厳しいらしいとの・・・）半導体関係では、大手液晶会社の資金繰りも落ち着き、6月頭から新ラインを稼働させた事もあり、全体的に動き始めた感が出てきました。県内での動きも少しずつ上がってきています。

（塚原・望月・村松・山田）